



岡 津



「つなぐ 自らの成長を自覚し、適切に行動できる岡津っ子」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okazu/>



学校だより 9月号
令和4年8月29日
横浜市立岡津小学校
校長 下畝 直人
TEL 811-4104
FAX 812-4586

夏の成長を生かして！

校長 下畝 直人

39日間に及ぶ長い夏休みが終わりました。今年の夏休みは3年ぶりに行動制限のない夏休みでした。久しぶりに田舎に帰ったり、旅行されたりした方もいらっしゃると思います。一方、新型コロナウイルス感染症第7波の感染急拡大は未だにピークアウトが見えず、引き続き感染症対策の徹底に努めていかなければなりません。また、今年も東北地方を中心に日本各地で集中豪雨による甚大な被害を受ける事態が生じました。集中豪雨で被害を受けられた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を願わずにいられません。

映画「サマーウォーズ」「未来のミライ」「竜とそばかすの姫」などで知られる細田守監督の作品には、入道雲が何度も登場します。監督はインタビューで「小さな雲がもくもくと立派に成長していく入道雲を主人公の成長の象徴として表現している。」と答えていました。監督の作品に夏を舞台にした作品が多いのは、“夏＝成長の季節”ととらえているのが理由のようです。夏休み中も子どもたちは自らを成長させるために頑張る姿を見せてくれました。鼓笛隊、和太鼓クラブの子どもたちは、猛暑の中、一生懸命練習に励みました。和太鼓クラブの子どもたちは8月6日(土)の中川連合町内会『夕涼みの集い』で練習の成果を堂々と発表してくれました。貴重な機会を設けてくださった中川連合町内会の皆様に厚く御礼申し上げます。また、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に学校代表として参加した川泉彩葉さんのスピーチは泉区の最優秀賞を受賞し、各区代表が集まる本選でも市長賞を受賞しました。8月18日(木)には「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」の委嘱式が横浜市庁舎のレセプションルームで行われ、山中市長から委嘱状を交付されました。

よこはま子ども国際平和プログラムは、昭和61年度から国際理解教育の一環として、横浜市内の児童生徒の国際平和への意識を高めると共に、国際平和の大切さを、市民をはじめ、広く世界に呼びかけるために行っています。「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」に出場した各区代表の児童生徒38名は「よこはま子ども国際平和子ども実行委員」に選ばれ、さらに市長賞に選ばれた小・中学生4名は、「よこはま子どもピースメッセンジャー」を委嘱され、ニューヨークの国際連合本部などを訪問、国連事務総長等へ市長メッセージを届け、横浜市の子どもの国際平和への取組の報告や「よこはま子ども平和基金」の寄託などの活動を行っていきます。

委嘱式終了後に第1回子ども実行委員会が開かれ、「よこはま子どもピースメッセージ」の作成を行いました。30分間という短いグループ討議にもかかわらず、各グループからは素晴らしいメッセージが発表されましたが、どのグループにも共通するキーワードがありました。「無関心でなく現状を知り、考え、行動することが大切」「相手の意見を尊重する。身近な人を大切にする。お互いを理解し、思いやりの心をもって認め合う。」「身近なところから行動を始め、世界に広げて未来につなげる。」「私たちの当たり前を広げていく。」・・・子ども実行委員の国際平和に向けて話し合う真摯な姿に感動を覚えました。「愛の反対の言葉は無関心」という話を聞いたことがあります。私たち大人も自らを振り返り、襟を正さなければいけないと子どもたちの姿から気づかされました。

夏休み期間中、子どもたちに関わる事件や事故の連絡が入ることはありませんでした。これも保護者の皆様、地域の皆様が温かく子どもたちを見守ってくださったお陰です。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。子どもたちの夏の成長を夏休みの明けの学校生活に生かし、実りの秋へとつなげていきたいと思っております。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

